

株式会社シードに対する「グリーンローン」の実行について

株式会社みずほ銀行（頭取：加藤 勝彦、以下「みずほ銀行」）は、本日、株式会社シード（代表取締役社長：浦壁 昌広、以下「シード」）との間で、グリーンローン（以下「本ローン」）を実行しました。

グリーンローンとは、「グリーンローン原則」（※1）に準拠し、環境問題の解決・緩和に資する事業の資金を調達するために実行されるローンです。

シードは、「グリーンローン原則」および環境省の「グリーンローンおよびサステナビリティ・リンク・ローンガイドライン」に基づき、2023年3月に「グリーンローン・フレームワーク」を策定し、第三者機関である株式会社格付投資情報センター（R&I）からセカンドオピニオン（※2）を取得しています。本ローンは、同オピニオンを踏まえたグリーンローン調達です。

シードは、社会の持続可能な発展に貢献することを経営の重要課題の一つと捉え、効率的な水の利用およびリサイクルを通じた健全な水循環や、使い捨てコンタクトレンズの空ケースのリサイクル等を通じて、環境リスクの低減に取り組んでいます。

みずほ銀行は、シードの環境リスクの低減に向けた取り組みをファイナンス面から支援すべく、シードが本フレームワークに基づき実施する適格グリーンプロジェクトのうち、CASBEE（※3）にて最高ランクであるSランクおよびZEB Ready（※4）を取得した東京都文京区に建設のシード新本社ビルを対象として、本ローンを組成しました。

〈みずほ〉は、持続可能な社会の実現に向けた取り組み（サステナビリティアクション）を強化しています。環境・社会課題解決に向けた資金の流れを創出するサステナブルファイナンスや金融を超える知見・機能を活用したソリューション提供を通じ、SX（サステナビリティ・トランスフォーメーション）に向けて、お客さまとともに挑戦していきます。

<案件の概要>

融 資 先：株式会社シード

実 行 日：2024年9月27日

資 金 使 途：シード新本社建設に係る設備資金

(※1) グリーンローン原則

Loan Market Association とアジア太平洋地域業界団体Asia Pacific Loan Market Association が2018 年3 月に策定した環境分野に用途を限定する融資の国際ガイドライン。2018 年12 月には The Loan Syndications and Trading Association も参画。

(※2) 株式会社格付投資情報センター（R&I）による評価レポートをご参照ください。

(<https://www.r-i.co.jp/rating/esg/greenfinance/index.html>)

(※3) CASBEE (Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency) :

国土交通省が主導して開発された建築物の環境性能評価システムで、建築物それ自体の環境品質・性能に関する評価と、建築物の外部に対する環境負荷に関する評価の両面から総合的な環境性能の評価を行う制度。CASBEE 建築（新築）は、戸建住宅を除く全ての用途の建築物を対象に、「S ランク」「A ランク」「B+ランク」「B-ランク」「C ランク」の 5 段階で評価される。

(※4) ZEB (Net Zero Energy Building) :

先進的な建築設計によるエネルギー負荷の抑制やパッシブ技術の採用による自然エネルギーの積極的な活用、高効率な設備システムの導入等により、室内環境の質を維持しつつ大幅な省エネルギー化を実現したうえで、再生可能エネルギーを導入することにより、エネルギー自立度を極力高め、年間の一次エネルギー消費量の収支をゼロとすることを目指した非住宅建築物。「ZEB」「Nearly ZEB」「ZEB Ready」「ZEB Oriented」の 4 段階で評価され、「ZEB Ready」は基準一次エネルギー消費量を 50%以上削減することで認証される。

以 上